

当院における栄養情報連携の取り組み

～医療・介護連携 の課題と展望～

医療法人鴻池会 秋津鴻池病院

管理栄養士 都築 尚子（つづき しょうこ）

本日の流れ

1. 法人紹介
2. 医療・介護報酬における栄養情報連携
3. 当院における栄養情報連携の歩みと実践
4. 最近の取り組み内容

本日の流れ

1. 法人紹介

2. 医療・介護報酬における栄養情報連携

3. 当院における栄養情報連携の歩みと実践

4. 最近の取り組み内容

法人紹介

奈良県

医療法人 鴻池会 秋津鴻池病院

許可病床 521床

精神科／内科

リハビリテーション科／整形外科／皮膚科



御所市

(令和7年11月末 人口 22,719人 高齢化率 約43%)



鴻池グループ地域包括ケア体制

秋津鴻池病院 521床

内科・リハビリテーション科

- ・地域包括ケア病棟
- ・回復期リハビリテーション病棟
- ・医療型療養病棟

精神科

- ・精神科急性期治療病棟
- ・一般病棟
- ・精神科療養病棟
- ・認知症治療病棟
- ・精神科デイケア
- ・精神科訪問看護
- ・認知症疾患医療センター（奈良県指定）

特別養護老人ホーム

国見苑

- ・一般入所・短期入所

さうす国見

- ・一般入所・短期入所
- ・通所介護

認知症対応型共同生活介護

つぶら・すじゃく

医療

保健



福祉

在宅ケア

（社会福祉法人 仁南会）

介護老人保健施設

鴻池荘 162床

- ・一般入所・短期入所
- ・通所リハビリテーション

サテライト蜻蛉

- ・一般入所・短期入所 29床
- ・通所リハビリテーション

認知症高齢者グループホーム

琴弾の家

- ・認知症対応型共同生活介護

鴻池会 地域ケアセンター

- ・鴻池荘訪問リハビリテーション
- ・御所訪問看護ステーション
- ・秋津ホームヘルプステーション
- ・居宅介護支援事業所
- ・在宅介護支援センター（御所市委託）

地域ケアセンター樫原

- ・居宅介護支援事業所

鴻池会 栄養科の特徴



秋津鴻池病院

管理栄養士 5名



医療

保健



鴻池荘

管理栄養士 5名

秋津鴻池病院と鴻池荘（老健）は隣接している
厨房はそれぞれにあり、献立作成以外の給食業務は委託している

病院と老健の栄養科は、同一の所属長が統括（2012年～）
日常的なスタッフの行き来はないが、連続性のある栄養管理を意識しやすい
病院、老健どちらの経験を積むことも可能（人材育成の強み）

本日の流れ

1. 法人紹介

2. 医療・介護報酬における栄養情報連携

3. 当院における栄養情報連携の歩みと実践

4. 最近の取り組み内容

2024年度 診療報酬改定

令和6年度診療報酬改定 II-3 リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進-⑦

医療と介護における栄養情報連携の推進

栄養情報連携料の新設

- 医療と介護における栄養情報連携を推進する観点から、入院栄養食事指導料の栄養情報提供加算について、名称、要件及び評価を見直す。

(新) 栄養情報連携料 70点

【対象患者】

- ア 入院栄養食事指導料を算定した患者
イ 退院先が他の保険医療機関、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム又は障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律第34条第1項規定する指定障害者支援施設等若しくは児童福祉法第42条第1号に規定する福祉型障害児入所施設（以下この区分番号において「保険医療機関等」という。）であり、栄養管理計画が策定されている患者

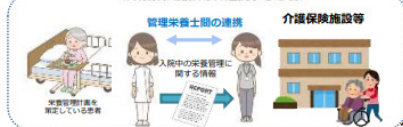
【算定要件】

- (1) 区分番号B001の10に掲げる入院栄養食事指導料を算定した患者に対して、退院後の栄養食事管理について指導を行った内容及び入院中の栄養管理に関する情報を示す文書を用いて説明し、これを他の保険医療機関等の医師又は管理栄養士に情報提供し、共有した場合に、入院中1回に限り算定する。
(2) (1)に該当しない場合であって、当該保険医療機関を退院後に他の保険医療機関等に転院又は入所する患者であって栄養管理計画が策定されているものについて、入院中の栄養管理に関する情報を示す文書を用いて当該他の保険医療機関等の管理栄養士に情報提供し、共有した場合に、入院中に1回に限り算定する。
(3) 区分番号B015に掲げる退院時共同指導料2は別に算定できない。
(4) 区分番号A308に掲げる回復期リハビリテーション病棟入院料（回復期リハビリテーション入院料1に限る。）においては、区分番号B001の10に掲げる入院栄養食事指導料と同様に、包括範囲外とする。

<入院中に栄養食事指導を行った患者>



<介護保険施設等に退院する患者>



2024年度 診療報酬改定にて

栄養情報提供加算

↓
栄養情報連携料へ

名称及び要件が変更された

・文書に加え、電話等による退院先管理栄養士との連携が必要

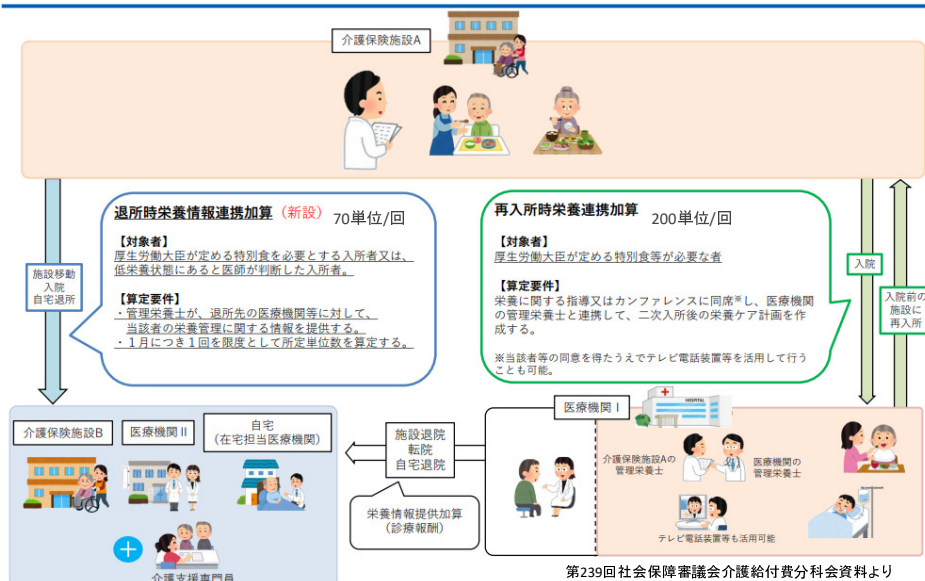
・算定できる病棟は限られている（包括病棟では入院料に含まれる）

・標準的な栄養評価が必要（GLIM基準の活用が望ましい）

2024年度 介護報酬改定

栄養に関する情報連携のイメージ図

下線部：R 6 報酬改定事項



第239回 社会保障審議会介護給付費分科会資料より

2024年度 介護報酬改定にて

・退所時栄養情報連携加算が新設された

※栄養マネジメント強化加算との併算定不可

・再入所時栄養連携加算は対象者が拡大した

※介護施設の管理栄養士が、医療機関での栄養に関する指導やカンファレンスに出席する必要あり
(医療機関側に報酬は発生しない)

本日の流れ

1. 法人紹介

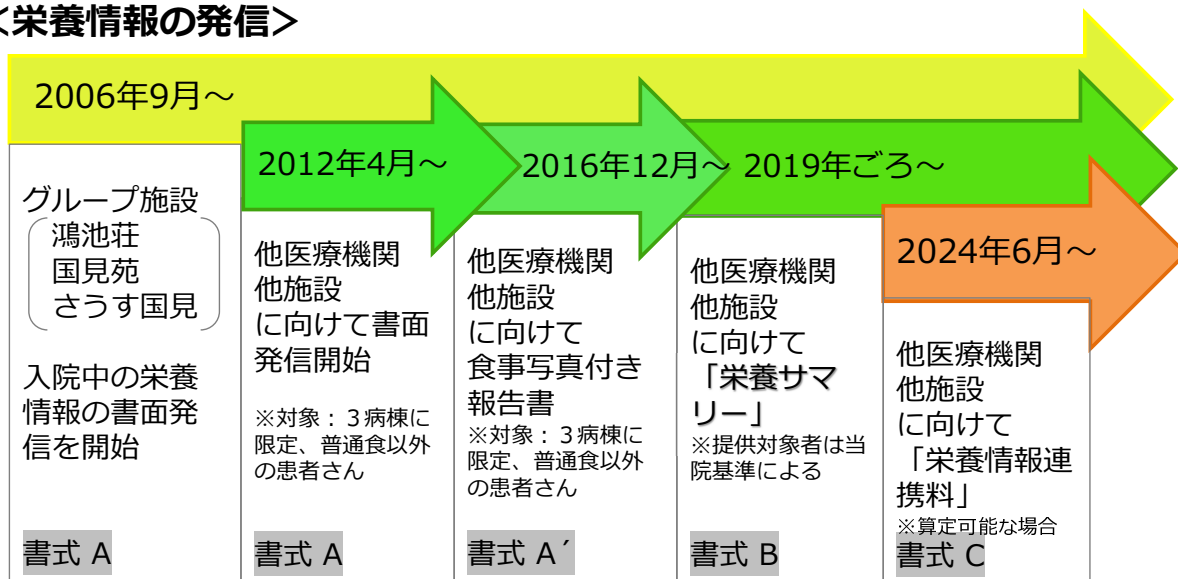
2. 医療・介護報酬における栄養情報連携

3. 当院における栄養情報連携の歩みと実践

4. 最近の取り組み内容最近の取り組み内容

栄養情報連携～当院の歩み～

<栄養情報の発信>



栄養情報連携の書式A（独自書式）

施設名 _____ 様
栄養管理報告書

患者氏名 _____ 様（女）
昭和 1年 1月 1日生 （歳）

身体状況及び食事内容 _____ 作成日 _____

身長 _____ cm 体重 _____ kg BMI _____ （測定日 令和6年 月 日）

血清アルブミン値 _____ g/dl （検査日 令和6年 月 日）

測定安静時心拍数 _____ 消費 _____ kcal

必要エネルギー量 _____ kcal 必要たんぱく質量 _____ g

食事内容 _____ 減量調整食 ☐ 通常食 ☐ コード _____

増好・アレルギー等 _____

摂取量 _____ 主食 _____ 副食 _____ 副食 _____

摂取エネルギー量 _____ kcal 摂取たんぱく質量 _____ g

とろみ剤の使用 ☐ 有 ☐ 無 とろみの濃度 ☐ 濃い ☐ 中間 ☐ 濃い ☐ セー状
食事介助 ☐ 有 ☐ 部分 ☐ 全 ☐ 無

特記事項 _____



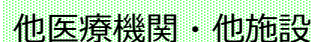
- ・グループ施設（特養）との連携に使用
- ・食事の種類や内容などを相互に把握し、不明点は電話で確認できるため項目は簡素化
- ・食事形態の選定理由やその経緯、体重変化などは特記事項に記載

栄養管理報告書（書式A）

4.9 件/月

（令和7年4～11月の平均）

 医療法人 鴻池会
HEALTHCARE CORPORATIONS KOUNOIKE-KAI

医療法人 鴻池会 秋津鴻池病院 管理栄養士

- ・ 2016～2019年に使用
- ・ 食事形態を視覚的に分かりやすく伝えることを目的に作成
- ・ 記入項目を最小限にし、業務負担を軽減
- ・ 現在は使用しておらず、栄養サマリーの書式へ移行

 医療法人 鴻池会
HEALTHCARE CORPORATIONS KOUNOIKE-KAI

担当者 管理栄養士
連絡先 0745-63-0601



- ・ 中和保健所のワーキンググループにより作成された様式
- ・ 作成に時間を要する
- ・ 看護師や言語聴覚士の確認が必要な項目も含まれる
- ・ 最近では作成依頼の件数が増加（１件/月程度）

6.3 件/月

(令和7年4～11月の平均)

栄養情報連携の書式C（栄養情報連携料算定）

栄養情報提供書

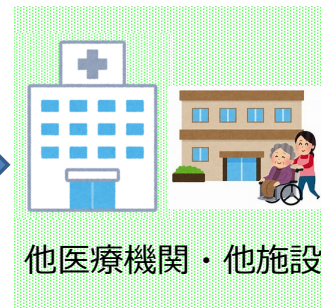
情報提供先医療機関・施設名
担当医師又は管理栄養士

記入日： 年 月 日
記載管理栄養士への説明日
年 月 日

患者氏名	性別	生年月日	年齢	科	病室
身長	cm (測定日 年 月 日)	☐ 不明	体重	kg (測定日 年 月 日)	kg/m ² ☐ 不明
血圧	mmHg (測定日 年 月 日)	収縮	mmHg	拡張	mmHg
血糖	測定なし・経過 測定日 月 / 増加・減少	測定値	mg/dl		
栄養状態の評価と栄養指導 (医師も記入する)					
☐ 栄養状態良好 ☐ 軽度栄養不足 ☐ 中等度栄養不足 ☐ 重度栄養不足 ☐ 栄養状態不明 ☐ 脱水 ☐ 浮腫 ☐ 低蛋白血症 ☐ 貧血 ☐ 肝機能障害 ☐ 腎機能障害 ☐ 呼吸器障害 ☐ 循環器障害 ☐ 消化器障害 ☐ 泌尿器障害 ☐ 内分泌障害 ☐ 免疫障害 ☐ 神経障害 ☐ 精神障害 ☐ 薬剤性障害 ☐ 手術後障害 ☐ 放射線障害 ☐ 感染症					
栄養指導に関する事項					
栄養指導者	医師	管理栄養士	看護師	薬剤師	その他
栄養指導内容 (指導内容、指導回数等)					
経口栄養	経管栄養	静脈栄養	その他		
経口栄養	経管栄養	静脈栄養	その他		
経口栄養	経管栄養	静脈栄養	その他		
経口栄養	経管栄養	静脈栄養	その他		
入所中の栄養管理に係る経過、栄養指導の内容等					

※ ① ②は医師による評価を行う場合は、記載すること。付いている場合は、併記にチェックすること。
 ※ ③ 日本栄養学会の栄養士による評価を行う場合は、併記にチェックすること。

問合せ先 医療機関名： 医療法人鴻池会 秋津鴻池病院
 担当管理栄養士名：
 電話番号： 0745-43-0901 (FAX)： 0745-42-1092



- ・栄養情報連携料を算定する際に使用
- ・厚労省の様式例に準拠して作成
- ・連携料の算定件数は全情報提供数の1割程度

栄養情報連携料算定（書式C）

1.7 件/月

（令和7年4～11月の平均）

秋津鴻池病院の栄養情報連携



法人内連携は内線電話
が中心

電話（内線電話）

7.3 件/月

（令和7年4～11月の平均）

栄養情報提供数（令和7年4～11月の平均）

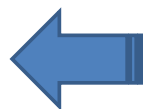
栄養管理報告書（書式A）	4.9 件/月
栄養サマリー（書式B）	6.3 件/月
栄養情報連携料算定（書式C）	1.7 件/月
電話（内線電話）	7.3 件/月

書面での提供数
合計 12.9件/月

秋津鴻池病院の栄養情報連携



秋津鴻池病院



栄養情報受け取り数（令和7年4～11月の平均）

同法人内老健 から	3.1 件
グループ施設 から	2.1 件
他医療機関 から	1.3 件
他施設 から	0.8 件

書面での受け取り数
合計 7.3件/月

医療・介護の栄養情報連携の現場で思うこと

- ・ 医療・介護の制度理解が十分に進んでいない（電話連絡に驚かれたことも）
- ・ 算定の有無にかかわらず、栄養情報の発信は続けたい
- ・ 同職種間連携が中心、在宅関係職種との連携は弱い
- ・ 義歯など情報が弱い分野もある（介護施設のほうが詳しい情報もある）
- ・ 介護施設➡医療機関：情報は急がないが食事内容は正確に知りたい
(食事形態アップの目安になるため)
- ・ 医療機関➡介護施設：情報はできるだけ早めにほしいのでは？！
- ・ 顔の見える関係づくりがしたい

書面以外（電話）での情報提供の場合

<書面以外（電話）で情報提供するとき>

- 相手の栄養士の方をよく知らない（お名前もわからない・・・）
- 忙しい時間帯を避けているつもりだが負担になっていないか不安
- 一方的に情報を伝えることの不安

<電話を受けるとき>

- 忙しい時間帯に電話があると対応が難しいこともある
- 入院予定の病棟や時期を知らない段階で情報を聞き取らないといけない

でも事前に情報をいただけると非常に助かります！

皆さんのところではどうですか？？

本日の流れ

1. 法人紹介
2. 医療・介護報酬における栄養情報連携
3. 当院における栄養情報連携の歩みと実践
4. 最近の取り組み内容

グループ施設内の顔の見える関係構築



秋津鴻池病院



介護老人保健施設
鴻池荘



特別養護老人ホーム
国見苑



特別養護老人ホーム
さうす国見



2012年1月～

グループ施設間
「管理栄養士
情報交換会」

開始！

コロナ禍で一時中断

2023年10月～
再開

研修会の実施

鴻池グループ
ご利用者の
食事内容の共有

食事形態や栄養管
理の連携について
の話し合い

2019年撮影

グループ施設内の顔の見える関係構築



秋津鴻池病院



介護老人保健施設
鴻池荘



特別養護老人ホーム
国見苑



特別養護老人ホーム
さうす国見



2012年1月～

グループ施設間
「管理栄養士
情報交換会」

病院、老健、特養と異なる役割を持つ
厨房、設備、人員、委託契約、献立内容などそれぞれ違う
違いを理解し合い、つながりを強くする



栄養情報連携を支えるネットワークづくりの第一歩

さらに顔の見える関係を広げたい！

- 近隣施設の栄養士がだれなのか分からない
➡距離的には近いのにつながりがない
- 同職種間の研修会に全員は参加できない
➡代表者だけの参加では「顔の見える関係」が広がりにくい
- 研修会に参加しない（栄養士会に所属していない）人もいる
➡研修会に頼るだけでいいのか
- 職域を超えて交流したい
➡地域の栄養士同士で集まり、直接つながる場が必要

地域で顔の見える関係の構築に向けて

	管理栄養士交流会 開催までの道のり
2024年10月	グループ施設間「管理栄養士情報交換会」拡大版計画を開始
2025年7月	鴻池会 給食委員会にて計画を報告し院内研修棟の使用許可を取得
2025年8月上旬	グループ施設間「管理栄養士情報交換会」で11月開催 拡大版の詳細を決定
2025年8月中旬	御所近隣の8施設へ電話連絡 （お名前の確認、開催の趣旨説明、案内状送付の承諾）
2025年8月下旬	8施設の施設栄養士様宛に案内状と出欠表を送付 ➡5施設6名の方から出席の返答をいただく
2025年10月	出席予定者へ最終案内状を送付
2025年11月当日	<u>御所地域の管理栄養士交流会を開催！</u>

地域で顔の見える関係の構築に向けて

御所地域の 管理栄養士交流会 開催！

2025年11月14日（金）15～16時 場所：秋津鴻池病院 研修棟



- ・参加者：5施設6名+グループ施設を含め 計18名
- ・内容：自己紹介、鴻池会・仁南会の紹介
グループトーク2セッション（席替えあり）
食事内容や栄養情報の連携上の課題、悩みなどを共有

皆さんと広げる栄養情報連携

- ・ 不十分な点もありますが、これからも栄養情報の提供を続けます
- ・ 退院患者全員への提供は難しいため、栄養サマリーが必要な場合はご依頼ください（ご連絡いただければ確実にお渡しできます）
- ・ 書面での栄養情報でわからない点があれば、遠慮なくお電話ください！
- ・ 介護施設の方へ：再入所時栄養連携加算に必要な病院訪問については、事前に連絡の上、ぜひお越しく下さい！
- ・ 御所地域の交流会についてもご興味のある方はご連絡ください
（次回開催予定：2026年5月）